

水通信



2020.6.26 第174号

「水通信」は、水資源機構（主に中部管内）における取組に関する情報を、中部管内の関係者（県、市町村、土地改良区その他関係機関）の皆様方に、直接配信させていただいております。

※目次の事業所名等をクリックすると、その事業所等の記事に移動します。

各事業所名をクリックすると目次に戻ります

目 次

☆【[巻頭言](#)】

- 中部支社 総務部長 相良 秀樹(さがら ひでき)

☆【[中部管内水源情報](#)】

☆【[新着情報](#)】

[中部支社管内洪水対応演習（ダム）を実施しました](#)

[中部支社](#)

- 中部支社周辺では

[豊川用水](#)

- 細山田 真(ほそやまだ まこと) 部長あいさつ

[木曽川水系連絡導水路](#)

- 宮内 茂行(みやうち しげゆき) 所長あいさつ
- 環境学習会を開催しました

[愛知用水](#)

- 笠井 泰孝(かさい ひろたか) 所長あいさつ

[木曽川用水](#)

- 齊藤 一俊（さいとう かずとし）所長あいさつ
- 白川取水口（木曾川右岸施設）のフラッシング操作を実施
- やぎさん除草隊2020活動開始！

岩屋ダム

- 齊藤 達也（さいとう たつや）所長あいさつ
- 「アユ迷入防止対策」を行いました

阿木川ダム

- 川地 悟（かわち さとる）所長あいさつ
- 環境保全の取組みの紹介

徳山ダム

- 森合 正人（もりあい まさと）所長あいさつ
- 実のなる木を植えよう大作戦の準備活動で下草刈りを行いました

長良川河口堰

- 高阪 英樹（こうさか ひでき）所長あいさつ
- 長良川河口堰で水難救助訓練が行われました

味噌川ダム

- 星野 徹（ほしの とおる）所長あいさつ
- ダム貯蔵酒の蔵入れがありました

三重用水

- 飯田 直宏（いいだ なおひろ）所長あいさつ
- 赤川の清掃活動を実施しました

☆【イベントカレンダー】

- 令和2年7月～8月

☆【編集後記】

- 担当課 中部支社事業部ダム事業課

巻頭言

【中部支社 総務部長 相良 秀樹】

新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方には、心からのお悔やみを申し上げますとともに、現在、治療をされている方の一日も早い回復をお祈り申し上げます。

また、医療関係のみなさまには、昼夜を問わず献身的に対応していただき、心から感謝申し上げます。

長期にわたる外出の自粛は、人間にとって（多分、ペットにとっても）相当なストレスになると思われませんが、みなさまは、どうお過ごしでしょうか。

私自身、人それぞれが、このストレスとどう付き合うかを、見えない何かに試されているように感じています。

みなさまは、家族で一緒に過ごして絆を深めたり、趣味や読書に没頭したり、掃除や片付けに集中したりと、それぞれが良い時間を過ごすための工夫をされているものと思います。

（単身赴任中の私は、学生時代に清水俊二訳で読み漁ったレイモンド・チャンドラーを、村上春樹訳で読み直して楽しんでいます。）

一方で、一部の心ない人々がその鬱憤を晴らすかのように、人が傷つくことも構わずに、

SNSで個人を誹謗中傷したり、揚げ足を取り合うなどして、人間の本性を見たようで暗い気持ちにさせられました。

6月19日にプロ野球も開幕するなど、これまで全国を覆っていた重く苦しい空気にも、ほんの少しだけ明るい変化が見られたように思われますが、いつ第2波が襲ってきてもおかしくない状況ですので、まだまだ油断は禁物です。

ご自身のみならず、大切な家族や友人、隣人の命を守るため、「新しい生活様式」を日常生活の中に取り入れて、新型コロナウイルス感染症の予防に取り組んで参りましょう。

水資源機構においても「新しい生活様式」を実践することで、働き方の新しいスタイルが浸透し、テレワークや時差通勤、オンライン会議がさらに拡大していくものと思われていますが、職員一同「安全で良質な水を安定して安くお届けする」という変わらぬ経営理念の下、業務に取り組んで参りますので、今後ともよろしくお願ひします。

中部管内水源情報

【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける6月26日現在の降雨及び利水貯水率については、下表のとおりとなっています。

木曽川水系の4ダム（牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム）の6月降雨量は平年並みの状況（平年比78%～109%）となり、4ダム合計の貯水率は96%（平年比117%）と、平年を上回る貯水状況となっています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの6月降雨量は、平年を上回る状況（平年比113%～119%）となり、豊川用水全体（宇連・大島ダム、各調整池）の貯水率は92%（平年比118%）と平年を上回る貯水状況となっています。

今後も水需要が多い時期が続きます。引き続き、気象、貯水状況に注視していきます。

中部管内各ダムにおける6月の降雨及び利水貯水率（6月26日現在） 単位：（%）

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	78	95	109	108	113	119	106	108
利水貯水率 (平年比)	89.6 (130.3)	100 (113.7)	100 (103.2)	100 (114.7)	87.6 (122.4)	98.3 (111.6)	91.3 (116.4)	100 (100)

- 中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。
中部支社HP <https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html>

「水源情報コーナー」

◆リアルタイム情報

<https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html>

◆中部管内の水源状況（平日更新）

<https://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/>

◆ダム貯水状況グラフ、節水

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessuijyouhou02-1.html>

新着情報

中部支社管内洪水対応演習（ダム）を実施しました

新型コロナウイルス感染防止のための緊急事態宣言発令中ではありましたが、5月14日（木）～15日（金）の2日間に亘って、中部支社管内のダムにおいて、令和2年度洪水対応演習を実施しました。

これは、ダムの防災操作（ダム放流時）による危害防止措置（関係機関への通知、放流警報等による一般への周知）及びダムの防災操作（洪水調節）を安全かつ確実にを行うことを目的に毎年実施しているものです。

今年度は、国土交通省中部地方整備局をはじめ、関係機関及び水資源機構中部支社管内の8事務所が参加しました。演習では、過去発生した最大規模の洪水を想定し、危害防止措置（関係機関への通知、放流警報等による一般への周知）や流入・放流量の計算や予測、申請等の机上訓練、放流警報設備の動作確認、さらに各事務所では、スピーカー放送やサイレン吹鳴、下流河川状況の巡視等を参加職員で行いました。

これから出水期を迎えるにあたり、皆様のご協力を得ながら、万全の体制で安全かつ確実な施設管理を行っていきます。

演習にご協力いただいた関係機関の皆様、ありがとうございました。

今回、演習に参加したダム施設のある8事務所

豊川用水総合事業部、愛知用水総合管理所、岩屋ダム管理所、阿木川ダム管理所
徳山ダム管理所、長良川河口堰管理所、味噌川ダム管理所、三重用水管理所



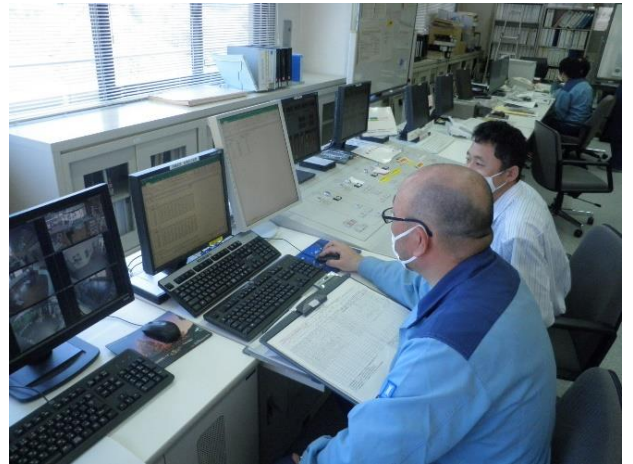
■中部支社の演習風景



■阿木川ダムの演習風景



■岩屋ダムの演習風景



■味噌川ダム演習風景



■徳山ダム 設備点検及び操作確認風景

中部支社

○ 中部支社周辺では

中部支社では、3月中旬から5月末まで、新型コロナウイルス感染予防対策として、時差出勤や在宅勤務を行うことで『密』を避けながら業務を遂行してまいりました。

例年ですとこの期間中、中部支社があるこの一帯は、名古屋を代表する観光地である名古屋城の桜や新緑を愛でる観光客で賑わっているところですが、今年は名古屋城が閉園となり、閑散とした状況のまま、いつもとかわらない暑い夏をむかえました。

そんな中部支社の敷地に、毎年咲き続けているアマリリスが今年も咲きました。新型コロナウイルスで『新しい生活様式』を求められているのは、私たちだけで、植物は何も変わらない、今までどおり・・・だということに気づかされます。マスク着用、検温実施が当たり前になった今、昨年までとは全く様変わりしてしまいましたが、今までどおりの日常を取り戻せる日がまた来ることを願います。

今回は、4月に就任された事業所長を始め各事業所長の挨拶もお願いしておりますので、よろしくお願ひします。



■支社玄関前に3個密接して咲いたアマリリス

豊川用水総合事業部

○ 細山田部長あいさつ

清々しい初夏を迎え、関係の皆様にはご健勝のことと存じます。

今年は、年始めから新型コロナウイルス感染症拡大が危惧されてから今日までの約半年間、豊川用水総合事業部では、皆様のご理解・ご協力をいただきながら、その対策に組織一丸となって取り組んできました。おかげ様で、職員皆元気で業務をしっかりと継続することができました。紙面をお借りして感謝申し上げます。

さて、水源状況ですが、昨年は豊川水系26年ぶりの春渇水により、5月19日には宇連ダム貯水ゼロを経験し、6月に入っても予断を許さない状況が続いたことを改めて思い出します。今年は5月末まで水源量は平年並み、6月に入るとダム放流が増え貯水量は減少しましたが、今月10日に梅雨に入りましたので徐々に貯水量が回復し、安心して水利用できると考えています。

また、豊川用水二期事業では、現在9件の併設水路工事を実施しています。受注者には、労働災害防止活動は勿論のこと、新型コロナウイルス対策にも万全の対策をとっていただきながら、計画通り進められているところです。大野導水併設水路工事では、今年4月より本格的に



■豊川用水施設 二川チェック

TBMによるトンネル掘削（直径約4.5m、延長約6km）を開始し、月当たり約300mを目標に掘削が進められています。

最近、岐阜県・長野県境を震源とする地震が頻発しています。一方、南海を震源とする地震を目にすることはない状況です。いずれ大規模な南海トラフ地震が発生することを前提に、現在実施している豊川用水二期事業を着実に進めていかなければなりません。また、日頃の管理業務や防災訓練などによりより一層職員の防災意識の向上・維持を図り、迅速かつ適正な防災対応ができるよう進めていかなければならないと考えています。

引き続き関係する皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

木曾川水系連絡導水路建設所

○ 宮内所長あいさつ

本年4月、木曾川水系連絡導水路建設所長として着任しました宮内茂行と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

木曾川水系連絡導水路事業は徳山ダムで確保された水を木曾川へ導水する事業ですが、現在、事業検証中でございます。これまで関係地方公共団体からなる検討の場を1回、幹事会を4回開催し、検証に係る検討を進めているところです。

建設所では、必要最小限の業務として検証に係る検討と地下水調査、動植物調査などの環境調査等を実施しております。引き続き、ご理解をお願い致します。

私は、これまで木曾川水系では味噌川ダム建設所、徳山ダム建設所、味噌川ダム管理所と3回勤務しており、ここ導水路で4回目となります。導水路では徳山ダムの水を揖斐川から木曾川へ、渇水時は一部、長良川を経由して運ぶ事業となり、3つの川、木曾川水系全体と広い範囲が対象となります。木曾三川の成り立ち、治水、利水の歴史、人々の生活、産業の成り立ちなど、学ぶべきことが多方面にあります。関係者の皆様方とお話させていただき、業務にあたらせていただきたいと思いますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。

○ 環境学習会を開催しました

2月19日（水）に徳山ダム管理所と共同で環境学習会を徳山ダムにて開催し、中部支社職員と岐阜大学工学部の学生も参加しました。

岐阜大学の神谷教授により、揖斐川扇状地をフィールドとした河川からの地下水涵養に関する研究成果について講話を頂きました。また、徳山ダムの施設見学、事業説明を併せて実施することで、職員の知識向上とともに学生に水機構事業への理解を深めていただく機会となりました。



■岐阜大、中部支社も参加した環境学習会

愛知用水総合管理所

○笠井所長あいさつ 東郷調整池（愛知池）の3密対策について

本年4月に愛知用水総合管理所長として着任いたしました笠井と申します。

私は、学生時代に愛知用水（長久手支所）に夏期実習で御世話になったことがきっかけで水資源開発公団へ入社致しました。そのため愛知用水に対するご縁を感じており、同時に恩返ししたいとの思いで一杯です。何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、愛知用水総合管理所では、新型コロナウイルス感染症蔓延防止の取り組みとして、執務室・トイレ及び導線を2班に分け、併せて2／3在宅勤務体制の導入、時差出勤、マスクと手洗いの徹底に取り組んできました。

一方、東郷調整池（愛知池）では、新型コロナウイルス感染症が蔓延しはじめた4月以降、愛知県から不要不急の外出と移動の自粛要請が出されたことから、来訪者が減少すると想定していましたが、GW前まではウォーキングや散策の憩いのルートとして、毎日多くの方が来訪され、特に休日には健康維持や解放感を求める方々の来訪が集中し、3密の状況を助長する恐れがあったため、愛知用水総合管理所では愛知県の緊急事態宣言に基づき、4月28日から2カ所の一般者駐車場を閉鎖し、来訪者の過密を防ぎ命を守る取り組みを下記のとおり行いました。

一般者駐車場進入路にバリケードとカラーコーンを設置して閉鎖、併せて協力を求める看板を数カ所に設置したほか、HPにおいても閉鎖についてお知らせをしました。

この結果、皆様のご理解とご協力により、大きなトラブルもないまま東郷調整池（愛知池）での3密を回避することができました。

その後、愛知県の緊急事態宣言の解除を受け、5月27日（水）の午後より駐車場の閉鎖を解除し、今までどおり利用をしていただくこととしましたが、皆様に新しい生活様式の徹底が浸透したのか、来訪者は以前に比べてかなり少ない状況が継続しています。

今後も新型コロナウイルス感染症蔓延防止の取り組みに努めつつ、一刻も早く安全で安心な日常が迎えられることを祈っています。



■東郷調整池の堤体と直下の水田



■宣言発令中の閉鎖した一般駐車場

木曾川用水総合管理所

○齊藤所長あいさつ

本年4月に木曾川用水総合管理所長として着任しました齊藤と申します。どうぞよろしくお願いたします。

木曾川用水総合管理所は、昭和50年の木曾川大堰完成、同51年の上流部、同52年の下流部の通水開始以来、40年以上にわたり施設の維持管理に努め、農水、上水、工水の配水を行ってきました。この間、木曾川用水施設緊急改築事業（H8年度～H13年度）をはじめとする改築事業により施設の更新事業も実施してきました。今年度は木曾川右岸緊急改築事業（H27年度～R2年度）の完了年度となっており、管理事業と併せ職員一丸となって事業推進に取り組んでいるところです。



■上空から見た木曾川大堰全景

さて、今年は新型コロナウイルスの感染拡大にともない様々な分野で多大な影響が生じております。しかし、このような中だからこそ市民生活や農業生産、工業生産活動が安心して行えるよう、それらを支える安定した水供給を水資源機構はしっかりと果たしてまいります。引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いたします。

○白川取水口（木曾川右岸施設）のフラッシング操作を実施

4月22日～23日木曾川用水右岸施設において白川取水口に堆積した土砂のフラッシングを実施しました。フラッシングとは一時的に取水量を増加させ、堆積した土砂を流下させる操作です。今回は、新型コロナウイルス対応のため、取水口内の堆積土砂をほぐしたり・移動の作業は行いませんでした。

このフラッシングは、平成20年9月に堆積土砂から発生した「カビ臭物質(ジェオスミン)」の対策として、平成21年度から年2回(4、9月)実施しているもので、カビ臭物質を水路内に堆積させない対策としてその効果が確認されています。



■フラッシング中の濁っている開水路



■フラッシング後の開水路

○ やぎさん除草隊2020活動開始！

今年も始まりました木曾川用水総合管理所美濃加茂管理所所属(?)、ヤギさん7頭による「除草隊」!! 今月の連休明けから上飯田及び蜂屋調整池堤体において、日々「草を食べる」という崇高な任務にあたっています。

CO2排出量もほとんどなく、えさ代要らずのエコな隊員たちの活躍に、全国からの注目が集まっています。この任務は6月初旬までと、10月頃の年2回実施されます。



■今年も出動「ヤギさん除草隊」

岩屋ダム管理所

○ 斉藤所長あいさつ

4月1日付けで岩屋ダム管理所長として着任しました斉藤達也です。

岩屋ダムには、昭和62年から平成3年3月までの4年間勤務していきまして、今回が2度目となります。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

岩屋ダム管理所は、昭和52年(1997年)4月から管理を開始して、44年目を迎えました。この間、皆様のご支援・ご協力をいただき、洪水調節97回、利水補給23.5億m³と「東海の水がめ」としての役割を果たしてきました。

昨今、異常気象、ゲリラ豪雨等により、記録的猛暑、記録的大雨等の話題が頻繁に上がっています。数十年に一度起こる、まれな現象が各地で発生していて、“想



■岩屋ダムのダム湖「東仙峡金山湖」

定外”が“当たり前”となっています。また、地震も各地で頻発しています。“有事の備えは平時から”、地域の皆様に安全で良質な水を安定してお届けできるよう、職員一丸となって努めて参ります。

これからも「東海の水がめ」として、治水・利水両面において役割を十分に発揮できるよう、適切な管理運営に努めて参ります。引き続き、ご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

○「アユ迷入防止対策」を行いました

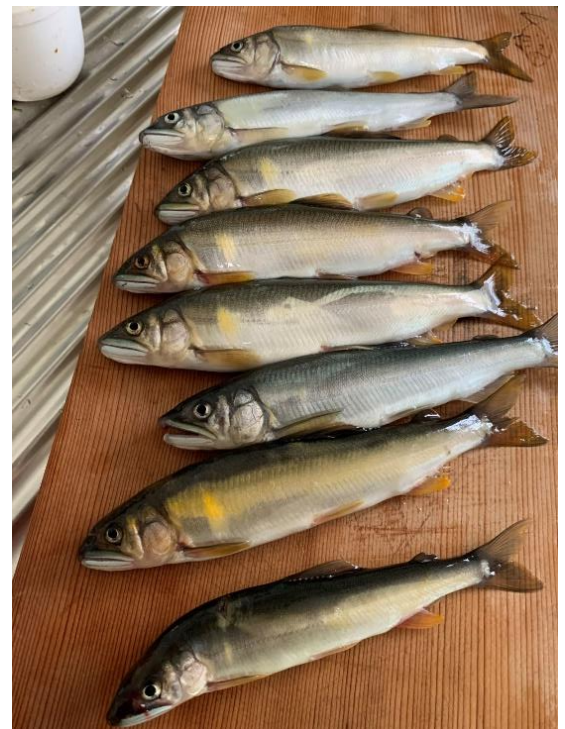
岩屋ダムでは昨年度に引き続き、5月2日に馬瀬川下流漁協と協働で「アユ迷入防止対策」を行いました。

この対策は、アユの生育に適さないダム直下にアユが迷い込まないように、水鳥の羽に似せた「オドシ」と呼ばれる仕掛けを水面に配置するものです。

6月6日には馬瀬川下流漁協管内においてアユ釣りが解禁され、多くの釣りファンで賑わっています。



■アユ迷入防止対策



■解禁日に釣れた”初物”アユ

阿木川ダム管理所

○ 川地所長あいさつ

2月の巻頭言を書かせていただいてから、4ヶ月ほどになります。その間に新型コロナウイルス感染拡大防止として、防災資料館の閉鎖、ダム入り口広場の利用自粛、ダムカードの配布中止、管理所内の執務室の分離による2班体制、さらに1/2の在宅勤務など、様々な取り組みを行ってきました。その間、ダム管理に支障を出すことなく、継続することができました。また、地元自治体等が主催するイベントや施設見学会の中止、各種会議にかわる資料配付等、関係者のみなさまと対面する機会も少なく、情報共有の難しさを感じております。

さて、今回は、6月からの出水期に向けた洪水対応演習の様子をお知らせするとともに、阿木川ダムにおける環境保全の取り組みを紹介します。



■上空から見た阿木川ダム堤体

○ 環境保全の取り組みの紹介

1. カワウの繁殖活動抑制対策

今年も3月末から、表層曝気設備の配管フロート上にカワウが巣を作りました。昨年、県の水産試験所から指導いただいたとおり、定期的に巣を撤去しておりましたが、4月に抱卵が確認されました。カワウは、表層曝気設備の配管に支障を与えるだけでなく、阿木川ダム湖産アユが捕食されてしまいます。そのため、昨年引き続き、採捕許可を4月17日に頂きましたので、4月21日から繁殖抑制対策として、採卵しています。



■営巣しているカワウ



■ 撤去前の巣の状況



■ 1日に採卵した数85個

2. 阿木川ダム湖産稚アユの貯留ダムの魚道の遡上の状況

阿木川ダム湖には、陸封アユが生息しており、例年5月ごろから遡上が始まります。この阿木川ダム湖産稚アユを恵那漁協が特別採捕許可をとり、貯留ダムの魚道から採捕しています。採捕された阿木川ダム湖産稚アユは、恵那漁協管内の河川に放流されています。

6月に入り稚アユの遡上が多くなりました。



■ 6月3日阿木川貯留ダムの魚道の陸封アユ

3. 特定外来生物オオキンケイギクの駆除
オオキンケイギクは、日本の生態系に重大な影響を及ぼす恐れがある植物として、外来生物法により「特定外来生物」に指定されています。

5月から7月頃にかけて、直径5 cmから7 cmの橙黄色の花をつけます。ダム管理所周辺に毎年開花するため、種子がない時期に駆除しています（根を引き抜いてビニル袋に入れ枯死させて処分しています）。



■ 6月2日管理所周辺でのオオキンケイギクの駆除

徳山ダム管理所

○ 森合所長あいさつ

本年4月に徳山ダム管理所長を拝命いたしました森合です。木曾川水系連絡導水路建設所からの異動です。どうぞよろしくお願いいたします。

徳山ダムでは新型コロナウイルス感染症対策のため、春の点検放流や堤体登坂のイベントの中止、ダムカード配布も6月いっぱいには中止です。ダムに来られる際は「人と人との距離確保」「マスクの着用」など基本的な感染防止対策をよろしくお願いいたします。

令和2年度は管理開始から12年目を迎えます。

これまで「揖斐の防人」として洪水被害の軽減に努めて参りました。48回防災操作を実施、平成26年台風11号では横山ダムとの連係操作により揖斐川万石地点で推定約2mの水位低減効果を発揮しております。最近では毎年日本のどこかで大きな水害が起こり、今年は発生しないとはとても思いません。今年度から事前放流の仕組みができたことから、徳山ダム管理所職員一同しっかり訓練してこれからも地域の洪水被害軽減のお役に立ちたいと考えております。



■ 堤体から徳山ダム湖と選択取水塔を望む

また、新型コロナウイルス感染症対策に配慮しながら、徳山ダムの豊かな自然を活かした「揖斐川水源地域ビジョン」の推進、徳山ダム上流の水源地域や揖斐川中下流部の河川環境を守るため地域や関係機関と連携した活動に取り組んで参ります。

○ 実のなる木を植えよう大作戦の準備活動で下草刈りを行いました

徳山ダム建設時にダム堤体の材料となったコア（粘土）を採取した山（通称コア山）の植生を回復させるため、どんぐりなどの実のなる木の苗木を植樹する「実のなる木を植えよう大作戦」を毎年地元揖斐川町と協働して実施しています。今年で20回目となります。今回はその準備活動として、6月10日（水）に揖斐川町と共に今年の植樹場所の確認、下草刈り及び食害防止ネットの張り替え作業を行いました。本来は一般の方にも参加していただき実施する作業ですが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、揖斐川町と機構のみで実施しました。

植樹して10年以上が経過し立派に育った木や食害ネットの中で順調に生育する木もありますが、食害防止ネットが積雪の影響で破損してしまった苗木は鹿による食害を受けて生育に差が出ており、新たな食害防止ネットを取り付けました。今後は9月に再度下草刈り等を実施し、10月17日（土）に一般の参加者の方と植樹を行います。

また、「実のなる木を植えよう大作戦」とは別に、地元の小中学生が種から育てた苗木を植樹する「苗木のホームステイ活動」も9月29日（火）と10月5日（月）に実施されます。



■ 下草刈り



■ 食害防止ネットの張り替え

長良川河口堰管理所

○ 高阪所長あいさつ

日頃より長良川河口堰の管理業務にご理解ご協力いただきお礼申し上げます。

長良川河口堰は、平成7年4月に管理を開始し25年が経過しました。

この間、長良川の洪水を安全に流下させるためのゲート全開操作を169回実施し、平常時には、塩水の遡上を防止し、安定取水を確保するためのゲート操作を実施してきました。また、魚道機能を確実に維持するとともに、アユをはじめとする魚類の遡上・降下に配慮したゲート操作や堰上流水域の水質保全に配慮したゲート操作など、環境に配慮した堰の操作・運用にも努めてきました。

昨今の異常気象への備えに万全を期すとともに、引き続き、地域の皆さまの声に耳を傾け、職員一同、適切な堰の管理・運用に取り組んで参ります。関係の皆さまのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



■ 右岸側から望む河口堰

○ 長良川河口堰で水難救助訓練が行われました

5月28日（木）～29日（金）にかけて長良川河口堰左岸において、桑名市消防本部の水難救助訓練が行われました。

この訓練は、甚大な被害が想定される南海トラフ地震や近年多発する大規模水害における救助体制を強化するため、高機能救命ボートの基礎知識及び取扱い技能の向上、また付随する資機材を活用した救助隊員相互の連携並びに安全確保の徹底を目的とするものです。

このボートは総務省消防庁より貸与された高機能救命ボートで、長さ6.7m、横幅が3.1m、重さが約200kgあります。瓦礫等がある水辺での活動も可能で、最大2,000kg（大人20名程度）まで乗船できます。船の先はスロープになっており、開閉することで段差をなくすことができ車いすの方でもスムーズに乗船できる仕組みになっています。

本格的な台風シーズンを前に、出水に伴う被害を想定しながら捜索・救助訓練が行われました。船舶の火災を想定したはしご車等による消火訓練も実施されました。



■ 高機能救命ボート



■ 消火訓練の様子

味噌川ダム管理所

○ 星野所長あいさつ

味噌川ダムは、平成8年の管理開始以来、今年で24年目の管理を迎えることができました。関係者の皆様のご協力に感謝いたします。

昨年（平成31～令和元年）1年間の味噌川ダムの総降雨量は、1,900mmとほぼ平年並みでした。一方、台風19号があった10月には、平均的な年の倍以上の降雨を記録しました。また、長野県全域においても、台風19号による千曲川の堤防決壊で多くの被災者や被害が発生する等、近年、極端な降雨状況になってきていると感じます。

ダム管理者として、今後とも、関係機関の皆様と相談しつつ、洪水に備えるとともに、利水等の面からも、適切なダム管理を実施していきたいと考えております。

味噌川ダムは、木曾川の源流である長野県木曾郡木祖村にあるダムです。景色良く、水がきれいな貯水池を訪れていただければ幸いです。



■初夏の味噌川ダム湖

○ ダム貯蔵酒の蔵入れがありました

6月5日（金）、今年も味噌川ダムの堤体内に、木祖村の「湯川酒造店」の日本酒を貯蔵する取り組みが行われました。今年で4回目となります。

この取り組みは、湯川社長が「ダムの内部は温度が13～14度と年中一定に保たれ、日本酒の熟成に適している。」と提案。木祖村が賛同し、水源地域ビジョンの特産品開発と地域活性化に当てはまると、味噌川ダムが協力する形で始まったものです。

ダム下流広場の監査廊入口から470m程奥にトラックで搬入。体感ではひんやりとしたトンネル内ですが、湯川酒造店の蔵や冷蔵庫（通常2～5度）と比べると気温の高い監査廊内部は熟成の速度が速く、秋には粗さが取れ、まろやかな味の日本酒になるそうです。

木曾川源流のおいしい水と、木曾産の酒米「ひとごち」が原料の純米吟醸です。今年は1100本の貯蔵となりました。蔵出しをお楽しみに。



■堤体内で熟成を待つ木祖の地酒

三重用水管理所

○ 飯田所長あいさつ

田には水が張られ、若苗が揚々と育つ季節となりました。

昨年の6月には三重用水でも水源状況説明会を開催し、渇水が危ぶまれましたが、幸いにして取水制限までには至りませんでした。今年は今月10日に梅雨入りの発表が東海地方にもありましたが、適量の降雨が望まれるところです。

三重用水では管理開始以降、27年が経過し、施設も老朽化していることから、昨年度は、ユーザーの方々にこうした状況等を現地にてご説明をさせていただく機会として、施設見学会を開催致しました。新型コロナウイルス関係の情勢も踏まえつつにはなりますが、今年度も同見学会を開催できればと考えております。その際は、ユーザーの皆様等におかれましても是非ともご参加いただければと存じます。

また、三重用水では、引き続き施設機能診断調査を実施し、施設の機能保全に努めて参ります。

当管理所職員一同、安全で良質な水を安定してお届けできるよう今年度も管理業務を実施していきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



■ 菰野調整池周回道路のアジサイ

○ 赤川の清掃活動を実施しました

5月19日（火）三重用水管理所は、ホタルの飛翔シーズンに備えて、菰野調整池（きらら湖）直下流の赤川沿いの清掃・除草作業を行いました。

これは、赤川において環境保全などについて地域活動を行っている「マこもの里自然に親しむ会」と協働で例年5月、7月、9月の年3回実施しているものです。

三重用水管理所では、ホタルをはじめとする水辺の生物たちが、元気よく生活出来るよう引き続き環境保全活動にも取り組んでいきます。



■ ホタルの飛翔に備えた赤川沿いの清掃

イベントカレンダー

中部管内関連のイベントカレンダー

【令和2年7月～8月】

7月、8月のイベント等は、新型コロナウイルス感染拡大防止によりほとんど予定がありません

編集後記

【中部支社担当課：中部支社事業部ダム事業課】

今年は、6月10日ごろに東海地方が梅雨入りしたとの発表がありました。

昨年の春は、東海地方の各河川は渇水状況にありました。今年も、年度当初は、ダムの水が減少し渇水が懸念されておりましたが、先日の降雨によりダムの貯水量も回復しつつあります。

これからは、本格的な洪水期を迎えることとなります。近年、激甚化する洪水被害を踏まえ、昨年12月に“既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針”が示されました。これを受け、中部支社が管轄する木曾川水系、豊川水系においても、関係者協力のもと治水協定が締結され、今後、各ダムの洪水調節機能を強化するため、事前放流が実施できるようにする要領を策定します。

治水、利水、環境・・・ダムは益々高度な管理が必要となっています。今ある施設を効率的かつ的確に運用し、最大限の効果が発揮できるよう努めて参ります。



今月の水通信はいかがでしたでしょうか。

「水通信」に対して、ご要望、ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。

mailto:chubu_water@water.go.jp

『第175号は、8月下旬に発行する予定です。』

バックナンバーをご覧になりたい方はこちら

<https://www.water.go.jp/chubu/chubu/mizutsuushin/mizutsuushin.html>



☆中部管内事業所のホームページアドレスは、以下のとおりです

中部支社：	https://www.water.go.jp/chubu/chubu/
豊川用水総合事業部：	https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/
木曽川水系連絡導水路建設所：	https://www.water.go.jp/chubu/kisodo/
愛知用水総合管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/
木曽川用水総合管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/
岩屋ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/
阿木川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/agigawa/
徳山ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/
長良川河口堰管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/nagara/
味噌川ダム管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/
三重用水管理所：	https://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/

発行者：水資源機構中部支社